2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名	株式会社アイスタイル	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3660	URL	https://www.istyle.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役会長CEO	（氏名）	吉松　徹郎
問合せ先責任者	（役職名） 取締役副会長CFO	（氏名）	菅原　敬　　(TEL) 03(6161)3660
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満四捨五入）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	19,623	6.4	853	△17.9	811	△22.7	△1,668	―
2026年６月期第１四半期	18,442	22.6	1,039	36.4	1,050	25.1	648	7.6

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期 △1,657百万円(―%)　2026年６月期第１四半期 657百万円(131.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△16.95	―
2026年６月期第１四半期	7.01	5.34

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	40,620	19,322	45.0
2026年６月期	40,385	23,780	56.1

(参考) 自己資本 2027年６月期第１四半期　18,262百万円　2026年６月期　22,647百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	1.00	1.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	10.0	5,000	22.4	5,100	20.2	1,400	△53.5	14.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　―　　、除外　　―社（社名）　―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	102,661,967株	2026年６月期	102,661,967株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	7,669,970株	2026年６月期	2,632,770株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	98,399,172株	2026年６月期１Ｑ	92,498,097株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、連結業績予想の１株当たり当期純利益は2026年11月19日付の譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による影響を加味して計算しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） ……10
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……11

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善により緩やかな回復基調を維持したものの、中東情勢の再緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や、消費者マインドの改善に足踏みがみられるなど、不透明な状況で推移いたしました。

化粧品業界におきましては、中東情勢を背景に原料や容器のコスト上昇が続いたほか、インバウンド需要においては地政学的な背景から特定の国・地域からの訪日客が減少いたしました。

また、インターネット関連市場におきましては、サイバー攻撃の高度化に伴い、情報セキュリティ対策の重要性が一層高まっております。

当第１四半期連結累計期間における連結業績は以下の通りです。

売上高におきましては、国内で展開しているマーケティング支援事業及びリテール事業の堅調な推移に加え、香港旗艦店が寄与したことにより、前年同期比6.4%の増収となりました。

営業利益におきましては、マーケティング支援事業における取引ブランドの裾野拡大やシステム基盤の刷新など、将来に向けた成長投資により同17.9%の減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失におきましては、第24回新株予約権の消却に伴う自己新株予約権消却損3,036百万円の計上により、一時的に赤字となりましたが、８月13日発表の通期連結業績予想には当該計上を織り込み済みであります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	19,623百万円	（前年同期 18,442百万円 / 前年同期比 6.4%増）
営業利益	853百万円	（前年同期 1,039百万円 / 前年同期比 17.9%減）
経常利益	811百万円	（前年同期 1,050百万円 / 前年同期比 22.7%減）
税金等調整前四半期純損失（△）	△2,256百万円	（前年同期 1,050百万円）
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,668百万円	（前年同期 648百万円）

① マーケティング支援事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした、化粧品ブランド向けの広告ソリューションやデータドリブンソリューションが属しております。

売上高におきましては、リテール事業のECと店舗における接点を活用した販売促進施策の好調などを背景に、取引規模が増加したことに加え、将来の成長基盤となる新規をはじめとした取引ブランド数が拡大したこともあり、前年同期比11.5%の増収となりました。

営業利益におきましては、限界利益が増収に伴い増加したものの、前述の取引ブランドの裾野拡大による売上総利益の減少や、将来成長を見据えた人材強化やシステム基盤の刷新に伴い固定費が先行し、一時的に前年同期比15.4%の減益となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	3,256百万円	（前年同期 2,920百万円 / 前年同期比 11.5%増）
営業利益	823百万円	（前年同期 972百万円 / 前年同期比 15.4%減）

② リテール事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」、化粧品専門店 「@cosme STORE（アットコスメストア）」等の国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECでは、引き続きプラットフォーム連携による新規顧客の獲得により、前年同期比5.0%の増収となりました。店舗では、地政学的な影響による一部インバウンドの減少があったものの、国内客の順調な推移や新店寄与により前年同水準での着地となりました。結果として、セグメント全体では前年同期比1.8%の増収にて着地しました。

営業利益におきましては、増収寄与により前年同期比2.3%の増益となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	14,418百万円	（前年同期 14,164百万円 / 前年同期比 1.8%増）

営業利益　　880百万円（前年同期　　860百万円 / 前年同期比　 2.3%増）

③ グローバル事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきましては、前期の第２四半期にオープンした香港旗艦店の寄与に加え、中国越境ECが復調した結果、セグメント全体で前年同期比59.7%の増収となりました。

営業利益におきましては、前期に計上した香港旗艦店のオープン関連費用が剥落したため、前年同期比で赤字幅は縮小となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高　　1,604百万円（前年同期 1,004百万円 / 前年同期比 59.7%増）
営業損失（△）　　△85百万円（前年同期 △150百万円）

④ その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

売上高及び営業利益におきましては、次の成長領域に向け体制変更に伴い減収・減益となりましたが、当社の社内計画通りの推移となります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高　　347百万円（前年同期　355百万円 / 前年同期比　 2.4%減）
営業利益　　3百万円（前年同期　 13百万円 / 前年同期比　75.0%減）

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産の部

当第１四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、40,620百万円となりました。

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ574百万円減少し、24,172百万円となりました。これは主に、商品が1,359百万円増加したものの、現金及び預金が2,329百万円減少したこと等によるものであります。

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ810百万円増加し、16,448百万円となりました。これは主に、ソフトウエアが89百万円、投資有価証券が30百万円、敷金及び保証金が251百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第１四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ4,694百万円増加し、21,299百万円となりました。

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ5,204百万円増加し、16,667百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1,067百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,782百万円、短期借入金が4,500百万円増加したこと等によるものであります。

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ510百万円減少し、4,631百万円となりました。これは主に、長期借入金が391百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第１四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,458百万円減少し、19,322百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,768百万円減少し、自己株式が2,637百万円増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期通期の連結業績予想につきましては、2026年８月13日の決算短信で公表いたしました内容から変更ありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,746	7,417
受取手形、売掛金及び契約資産	6,062	6,057
商品	7,436	8,795
営業投資有価証券	471	460
その他	1,036	1,448
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	24,746	24,172
固定資産		
有形固定資産	4,525	4,306
無形固定資産		
のれん	745	754
ソフトウエア	2,780	2,870
その他	680	704
無形固定資産合計	4,205	4,327
投資その他の資産		
投資有価証券	3,386	3,415
敷金及び保証金	2,302	2,553
その他	1,220	1,846
投資その他の資産合計	6,908	7,815
固定資産合計	15,638	16,448
資産合計	40,385	40,620

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,139	5,921
短期借入金	―	4,500
1年内返済予定の長期借入金	1,582	1,574
資産除去債務	32	―
未払法人税等	1,123	55
賞与引当金	479	271
その他	4,109	4,346
流動負債合計	11,464	16,667
固定負債		
長期借入金	3,242	2,851
資産除去債務	807	809
その他	1,092	972
固定負債合計	5,141	4,631
負債合計	16,605	21,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,990	8,990
資本剰余金	4,139	4,146
利益剰余金	8,566	6,798
自己株式	△273	△2,910
株主資本合計	21,422	17,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36	△42
為替換算調整勘定	1,261	1,279
その他の包括利益累計額合計	1,225	1,238
新株予約権	990	931
非支配株主持分	143	128
純資産合計	23,780	19,322
負債純資産合計	40,385	40,620

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	18,442	19,623
売上原価	10,393	11,071
売上総利益	8,050	8,552
販売費及び一般管理費	7,011	7,699
営業利益	1,039	853
営業外収益		
受取利息	8	17
為替差益	0	―
持分法による投資利益	32	―
投資事業組合運用益	0	38
その他	12	18
営業外収益合計	52	72
営業外費用		
支払利息	16	24
為替差損	―	26
株式交付費	23	―
持分法による投資損失	―	42
投資事業組合運用損	0	1
その他	2	22
営業外費用合計	41	114
経常利益	1,050	811
特別利益		
新株予約権戻入益	0	―
特別利益合計	0	―
特別損失		
固定資産除却損	1	―
自己新株予約権消却損	―	3,036
臨時損失	―	32
特別損失合計	1	3,068
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,050	△2,256
法人税等	399	△590
四半期純利益又は四半期純損失（△）	651	△1,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	648	△1,668

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	651	△1,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△1
為替換算調整勘定	16	15
その他の包括利益合計	6	9
四半期包括利益	657	△1,657
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	656	△1,655
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△2

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

当第１四半期連結累計期間に第９回及び第26回新株予約権の権利行使が行われ、資本金及び資本剰余金が1,000百万円増加しております。また、当第１四半期連結累計期間に第２回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換権行使が行われ、資本金及び資本剰余金が750百万円増加しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末において資本金が8,929百万円、資本剰余金が4,063百万円となっております。

当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

当社は、2026年８月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,037,200株の取得を行いました。その結果、当第１四半期連結会計期間において自己株式が2,637百万円増加しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末において自己株式が2,910百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他事業(注) １(百万円)	合計(百万円)	調整額(注) ２(百万円)	四半期連結損益計算書計上額(注) ３(百万円)
	マーケティング支援事業(百万円)	リテール事業(百万円)	グローバル事業(百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	―	14,164	765	14,928	5	14,933	―	14,933
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,920	―	239	3,159	346	3,505	―	3,505
顧客との契約から生じる収益	2,920	14,164	1,004	18,087	351	18,438	―	18,438
その他の収益	―	―	―	―	4	4	―	4
外部顧客への売上高	2,920	14,164	1,004	18,087	355	18,442	―	18,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	410	89	3	502	13	515	△515	―
計	3,330	14,253	1,006	18,589	368	18,957	△515	18,442
セグメント利益又は損失(△)	972	860	△150	1,683	13	1,695	△656	1,039

(注) １．「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△656百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△656百万円であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他事業(注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケティング支援事業 (百万円)	リテール事業 (百万円)	グローバル事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	―	14,418	1,396	15,813	11	15,824	―	15,824
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,256	―	208	3,464	336	3,799	―	3,799
顧客との契約から生じる収益	3,256	14,418	1,604	19,277	347	19,623	―	19,623
その他の収益	―	―	―	―	―	―	―	―
外部顧客への売上高	3,256	14,418	1,604	19,277	347	19,623	―	19,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	435	105	3	543	28	571	△571	―
計	3,691	14,523	1,607	19,820	374	20,194	△571	19,623
セグメント利益又は損失(△)	823	880	△85	1,618	3	1,621	△768	853

(注) １．「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△768百万円は、セグメント間取引消去１百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△769百万円であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	516百万円	636百万円
のれんの償却額	51百万円	55百万円